

## 安全運転管理NEWS

交差点事故の防止を徹底しましょう。

令和3年1月1日から令和3年9月30日の間に発生した交通事故の半数以上は交差点及び交差点付近で発生しています。

交差点事故を防止するために

- ◎ 通り慣れた交差点ほど「油断の心理」を警戒する。
  - ドライバーにとっていつも通り慣れた交差点は「ここは車がこないから・・・」といった「油断の心理」が働きやすく、警戒心が乏しくなります。
  - ※ いつも通り慣れた、しかも信号機がなく交通量が少ない小規模な交差点ほど「油断の心理」に陥り易いことから、安全確認の徹底を指導してください。
  
- ◎ 一時停止の交通規制では停止線で正しく止まることを徹底させる。
  - 「ここで止まっても左右が見通せない。」からと言って停止線を越えて停止するドライバーや停止せずにギリギリと交差点に進入するドライバーを見かけます。
  - ※ 道路交通法第43条では、「車両及び路面電車は、交通整理が行われていない交差点またはその手前の直近において、一時停止の道路標識等により一時停止すべきことが表示されているときは、道路標識等による停止線の直前(停止線がない場合は、交差点の直前)で一時停止しなければならない。この場合において、交差道路を通行する車両等の進行妨害をしてはならない。」と規定しています。
  - ※ 停止線は、車両のいかなる部分でもその線を越えて停止してはならないことを示す標示です。停止線で止まっても左右の確認ができないからといって停止線を越えてはいけません。

停止線の手前で止まらなければ、交差する道路から右左折してくる車両が曲がれない箇所もあります。停止線の直前で一時停止して左右の安全を確認します。その後左右の確認ができる位置までゆっくりと前進して、交差点に進入しても大丈夫かどうか、再度安全を確認してから通行することを指導してください。
  
- ◎ 青信号でも漫然と追従しない。
  - 特に交通量が多く、車の流れが比較的低速であるときは、前方の交差点が「青」でも先行車群の流れが停滞しやすく、追突の危険性が高まります。
  - ※ たとえ低速走行時でも漫然と追従せず、常に先々の交通状況に目配りし、先行車群の流れの変化を先取りできるよう習慣化することを指導してください。
  
- ◎ 郊外の長い直線路では、積極的に交差点を探す。
  - 特に郊外の長い直線道路では、交差点の存在を忘れがちとなります。
  - ※ 一本道に見える長い直線路でも交差する道路が必ずあると意識し、交差点を見逃さないようにすることを指導してください。また、見通しが良い交差点でも油断せず、意識的に顔を左右に向けて交差車両等がないかしっかり確認することを指導してください。